

元気な地域づくり活動支援事業

事業評価シート（五城目地区）

新里町 町内会

人口	303人	世帯数	114世帯	高齢化率	13.9%
新里町 町内会 ビジョン	策定	平成28年8月8日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅の入退居などによる地域住民の入れ替わりが多くあり、地域コミュニティ活動の維持継続が難しい。 ・コミュニティ活動の拠点である集会所の利用促進を図るため、施設の備品を充実させていきたい。 ・誰もが安全・安心に暮らせるよう、地域ぐるみで災害対策、雪害対策に取り組んでいく必要がある。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を中心として若者が多く定住し、賑わいのある町内にしたい。 ・災害の少ない地域の利点を生かし、町の中心となる町内を目指す。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・美化活動で景観を維持していくため、花壇づくりや動物被害の無いゴミ収集所で清潔な町内をつくりたい。 ・健康づくり教室の開催と体力づくりを積極的に進めていきたい。 ・自主防災を心がけ、日頃から町内の見回りをするとともに、災害時に対応できる事業や冬期間の高齢者宅の除雪ボランティア事業を行っていきたい。 ・集会所を多目的ホールとして開放し、ふれあいサロンなどに広く利用する。 ・町内の行事や他町内会との交流で親睦を図り、共に刺激を受けながら今後の運営に役立てていきたい。 			

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（清掃活動、花壇づくり、ゴミ集積箱更新） ・一般伝統行事（夏祭り） ・健康づくり（健康教室） ・地域ふれあい（視察研修、交流会）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・活動用備品を充実させることで作業効率が上がった。また、参加意欲の向上にもつながった。（清掃活動） ・町内全体が明るくなった。他町内会からウォーキングに訪れる方から声をかけられるなど、住民交流や健康づくりに寄与できた。（花壇づくり） ・20年以上になるゴミ集積所の更新をすることができ、町内の景観美化、環境衛生の向上が図られた。利用者のマナー向上にもつながった。（ゴミ集積箱更新） ・若者が中心となって運営。高齢者から子どもたちまで喜んでもらった。盆踊りは町内で初めての行事となるが、伝統行事として継続を望む声も多くでてきた。（夏祭り） ・保健師による健康相談、血圧測定など高齢者の健康づくりに効果があった。（健康教室） ・他町内会と交流、互いの町内会活動についての意見を交わし有意義な研修となった。（視察研修、交流会）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈りや下水上げ等を中心に年間の実施回数を増やしていき、美しい町内を維持していく。（清掃活動） ・活動がより充実したものとなるよう町内会予算を組んでいく。（花壇づくり） ・他町内会のモデルになるよう努力していきたい。（ゴミ集積箱更新） ・町内の伝統行事として継続していく。新たな交流事業も積極的に計画していきたい。（夏祭り） ・高齢者の関心も高く、回数を増やす方向で継続していきたい。（健康教室） ・他の町内会との交流機会も増やしていきたい。（視察研修、交流会）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・最終年度からの遅いスタートとなったが、予定通りに事業を推進することができた。いずれも町内住民の交流を深めることができ、成果があったと感じている。本事業は、町内会活動活性化の契機となった。 ・集会所の備品整備も同時に着手することができ、今後は、集会所を拠点とした地域活動を工夫していきたい。

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整備 両面黒板1、ホワイトボード1、座卓テーブル4、座卓テーブル2 食器棚1、発電機1、エアコン2、冷蔵庫1、LED照明器具2 FF式温風機2、座椅子3、オープンレンジ1、掃除機1台、灯油タンク1
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・備品が充実し集会所の利便性が大幅に向上した。利用しやすい環境が整備され、町内住民から好評を得ている。 ・空調設備により快適となった。 ・LED化により室内が明るくなり、省エネとなった。 ・会議、教室のほか、子供たちの遊びや学習にも椅子、テーブル、ホワイトボード等の備品が活用されており、集会所の利用が増えた。 ・冷蔵庫の整備により利便性と省エネを図ることができた。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・年間通して集会所を開放し、誰でも使用できるようにする。 ・サロンとして長い時間を過ごせるようにしていきたい。 ・集会所を活用した年間の行事運営を工夫していく。 ・数年前までは若者と子どもが多く色々な事業や行事ができたが、路線バスの廃止により通学が不便になったことで若者の町外への転出者が増えており、今後対策を考えないといけないと思う。
その他	

広ヶ野 町内会

人口	177人	世帯数	71世帯	高齢化率	44.6%
広ヶ野 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 急速な高齢化（一人暮らし増加など） 公民館の老朽化（大規模改修が必要） 世代間交流など住民交流の機会が減少 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> きずなを深める 防犯防災対策の強化 楽しめる行事の創生 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> 公民館改修（防犯防災拠点、気軽に集まれる場所） 町内会50周年記念事業 盆踊り復活、夏祭りの実施 五一中生徒との交流事業 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 集会所改修 屋根葺替（96㎡）、サッシ取替、外壁改修、内装工事
成果	<ul style="list-style-type: none"> 建設当時（40年以上前）からの屋根の葺替えを実施、安心して公民館を活用できるようになった。 サッシ取替えにより、隙間解消、開け閉めが楽になった。 外壁改修により、施設の美観を保つことができたほか、断熱材を入れたことにより冬期間の暖房費軽減につながった。 トイレの渡り廊下を改修し、高齢者のトイレ利用が楽なものとなり好評を得ている。集会所の利用促進に効果があった。
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> 本事業活用により、課題であった集会所の改修を実施することができた。 今後も逐次改修が必要となるため、財源の計画的な確保（助成制度を含め）が課題となってくる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> トイレへの段差解消により、高齢者のコミュニティ活動が活発となったと感じている。

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 一般伝統行事 （町内会50周年記念事業（式典、記念誌発行）、町内会祭り） 地域ふれあい（研修親睦交流会、次世代親睦交流会）
成果	<ul style="list-style-type: none"> 節目である50周年記念事業を成功させるため、役員を中心にまとめ意見交換することができた。式典、祝賀会の開催のほか、町内会の歴史をまとめた記念誌を発行し、町内会員へ配布した。事業を通じて町内会の歴史を再確認することができた。（50周年記念事業、記念誌の発行） 50周年記念事業により町内会活動への関心も高まっており、多数の参加を得て盛会であった。参加者の親睦交流が深められた。（研修親睦交流会） 多数の参加を得て町内住民の親睦を深めることができた。簡易式の軽量タイプのテントを配備したことで会場設営の円滑化が図られ、次年度以降の事業実施に意欲的となった。（町内会祭り） 日頃交流の少ない若者たちのコミュニティづくりを目的として実施。町内会活動の維持活性化について意見交換の場を創出することができた。（次世代親睦交流会）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> 発行した記念誌及び収集した資料は、町内会の貴重な資料として保管、活用に努める。今後も町内会の歴史を重ね、広ヶ野ビジョンの目標である「絆を深める、防犯防災対策の強化、楽しめる行事の創生」を目指していきたい。（50周年記念事業、記念誌の発行） 町内会活動の活性化を図るため、多くの町内住民が意見交換できる事業であり、今後も継続していきたい。（研修親睦交流会） 地域住民の親睦を深める事業を企画運営していく。（町内会祭り） 町内会活動の活性化、次世代への継承のため、今後も事業を継続させていきたい。参加者が固定化しないよう事業内容を見直しをしていく。（次世代親睦交流会）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 町内会50周年記念事業、町内会祭り、世代間交流事業等の実施より、日頃、交流の少ない方々とも交流できた。 事業継承のため、次世代交流会は必要だという共通認識が確認できたことが、大きな成果である。 町内会総会資料、各種団体資料の重要性を再確認することができた。今後、資料の整理、保管を徹底していくことが必要。

希望ヶ丘 町内会

人口	98人	世帯数	44世帯	高齢化率	42.9%
希望ヶ丘 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所の補修（外壁、屋根） ・景観の美化、維持（通学路の雑草やゴミ集積箱の劣化） ・高齢者が多くなり、災害時、日常生活への不安が生じている。それを支えていく若い世代との交流も少なくなっている。 ・空き家が増えているため、空き家対策・防犯対策が必要である。また、除雪支援活動にも力を入れていかなければならない。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高台で広々野土壘に囲まれた静かな町内会を目指す。 ・集会所や公園を拠点として、町内住民が集まり、明るく元気な声掛けのできる町内会を目指す。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所（ふれあいサロン）、公園（ふれあい広場）を整備し、みんなが気軽に集まれる場とする。 ・花壇づくりなどの共同作業を通じて、明るく元気なコミュニティづくりを推進する。 ・近隣の町内会、五一中との災害訓練を計画し、実施するとともに、防犯対策として声掛け運動や通学路の美化清掃を推進する。 ・定期的にお茶っこ会等の集いを開催し、親睦を深め連帯感を強化する。 ・月1回の血圧測定を行う。 			

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（花壇づくり、ゴミ集積箱設置） ・一般伝統行事（視察研修旅行、運動会、テント購入、夏祭り） ・生活支援活動（防災訓練、発電機購入、除雪支援活動） ・健康づくり（健康教室） ・地域ふれあい（ふれあいサロン、ふれあい広場）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の機会となり町内に明るい雰囲気生まれた。自主的な清掃活動も生まれてきた。散歩コースとして歩く人が増え、中学生との挨拶が増えた。綺麗に維持されることで防犯効果があった。（花壇づくり） ・劣化したゴミ集積箱を更新し、町内の景観美化が図られた。利用者の利便性が向上した。（ゴミ集積箱更新） ・花いっぱい先進地の視察等を通じて、町内住民の親睦を深めた。他町内の活動を学び、自分たちの活動を振り返り意見交換できた。（研修旅行） ・購入したテントは運動会で活用した。防災訓練でも活用が可能であり、屋外行事が企画しやすくなった。（運動会、テント購入） ・内容を工夫したことで若い世代の行事参加が増え、町内の結束を強めることができた。（夏祭り） ・夜間を想定し発電機による照明を点灯させる訓練を実施。災害時の夜間照明を確保することができた。（防災訓練、発電機購入） ・高齢化の進んでいる町内の交通事故防止に寄与した。（除雪支援活動） ・個人別に血圧測定を実施、記録して自己管理していくことで、より大きな成果に結びついている。和やかな雰囲気で開催され、ストレス解消にもなっている。（健康教室） ・災害発生時には地域住民の協力が必要になる。ふれあいサロンでの集いをきっかけに住民同士の絆を強めることができた。また、集会所に隣接する公園をふれあい広場として活用できるよう備品を整備。家族で集まりくつろげるように環境を整備した。（ふれあいサロン、ふれあい広場）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・作業後にはサロンを開催して参加者の輪を広げていく。（花壇づくり） ・周囲の環境も維持し、きれいな町内づくりに努める。（ゴミ集積箱更新） ・町内住民にとっては大きな楽しみの中の1つの事業であり、参加者増を図りながら事業を継続していきたい。他町内の活動を学ぶなど、自分たちの活動に役立つ内容としていきたい。（研修旅行） ・テントを活用した屋外行事、子供から大人まで参加できて親睦できる行事を活発にしていきたい。（運動会、テント購入） ・若い世代の行事参加があるよう内容を工夫し継続していく。（夏祭り） ・発電機の管理運用を具体的に詰めていき、災害時にしっかり活用できるようにしていく。（防災訓練） ・高齢ドライバーが安全にすれ違える道幅確保、坂道の凍結防止剤散布など、今後も除雪支援を継続する。（除雪支援活動） ・専門講師による講演会も企画しながら継続していく。（健康教室） ・集会所をふれあいサロンとして開放し活用していく。草刈り、花壇づくり等、作業活動のみで事業を終わらせず、常に集いに結び付けることを心掛け、参加者の増加を図りたい。（ふれあいサロン、ふれあい広場）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町内住民との集いにより親近感が生まれ、日常の困りごとを気軽に相談してくれるようになった。元気なムラづくりに近づいてきていると評価している。

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修 台所改修、トイレ洋式水洗化、バリアフリー化、物置改修
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく衛生的な台所になり、会合時の飲食物の準備が安全安心なものとなった。トイレの洋式水洗化により、高齢者が不自由なく利用でき滞在が快適なものとなった。 ・バリアフリー化により施設の利用促進が図られ、自宅に閉じこもりがちな高齢者の参加率向上につながった。 ・物置改修により、集会所内の備品が整理でき快適な集いが実施できた。
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所を利用した事業展開により、元気な地域づくりを推進する。（健康教室の毎月実施の継続、新たな集いの計画、バーベキュー、鍋っこ、集会所の開放、ふれあいサロンデー等） ・近隣の公園（ふれあい広場）に、子供から老人まで集まれるように集会所のトイレを開放する。 ・花いっぱい作業後に集会所で集いを開催し、より楽しい活動とする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の集いに対する参加率向上の対策がまだ不足している。 ・毎月実施している健康教室に参加している人が高齢者を中心としたものとなっている。若い人も集まれるように土日開催も計画したい。県で実施している出前講座など、若い人向けに活用できるのではと考えている。 ・町や県などで実施している活動について情報収集し、質の高い町内活動を目指したい。

上田町 町内会

人口	105人	世帯数	48世帯	高齢化率	40.0%
上田町 町内会 ビジョン	策定	平成27年10月30日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや若い世代の行事参加も少なく、活気がなくなっている。 ふれあい会館の老朽化が著しく、今後の活用に不安がある。 高齢化率は40%近い。緊急時や高齢者の日常生活に不安がある。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 各種行事への参加で、世代間の交流を図る。 町内住民の絆が強い、明るく住みよい町内会 集会所を拠点として活動する町内会 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> 会館脇のスペースを活用して花壇をつくる。また、草刈りなど景観美化活動を行う。 高齢者等の除雪支援を行うほか、防犯、防災教室や避難訓練を実施し、安全・安心な地域づくりを行う。 現在行っている夏祭りも参加者が減っており、今後も継続できるように工夫を凝らす。また、以前あった行事の復活や新しい行事などを考え、多世代交流を行う。 活動の拠点となる上田町ふれあい会館を改修する。（外壁、屋根の雨漏り部分、床の畳張り替え） 健康教室を開催し、元気で明るい地域づくりを目指す。 			

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 景観美化活動（清掃活動） 一般伝統行事（祭典行事、夏祭り） 生活支援活動（除雪支援活動、防犯防災教室、健康教室）
成果	<ul style="list-style-type: none"> 草刈り機の購入により作業時間が短縮され、効率的に作業を進めることができた。自宅前の清掃だけでなく、国道や周辺道路の清掃に協力してくれる人が例年より多く参加するようになった。（清掃活動） 購入した紅白幕は、夏祭りにおいて新調したテントとともに活用し、会場の雰囲気盛り上げた。次年度以降の祭典時の運営が円滑になると思われる。（祭典行事） 備品整備により、会場設営の円滑化を図ることができた。今後の夏祭りのあり方について意見交換をしながら参加者の親睦を深めることができた。（夏祭り） 一人暮らし世帯宅などを中心に除雪支援を実施。役員をはじめ積極的な参加があった。今後の除雪支援の体制整備が必要である。（除雪支援活動） 消防署員による防災教室、また健康教室の代替として緊急救命や自主防災について学んだ。町内住民の参加意識も高く、防災意識の向上が図られた。（防犯防災教室、健康教室）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体の高齢化が進み、家の前だけの清掃になりがちであったが、町内全体の景観美化に努めようという意識を向上させるようにしていきたい。（清掃活動） 整備した備品は、祭典行事のほか、夏祭りなど長く使用できるように丁寧な保管に努めていきたい。町内会においてクリーニングの予算化を検討する。（祭典行事） 参加増を図るための工夫を取り入れ、各世代の交流が促進されるような事業を計画していきたい。（夏祭り） 町内会としての除雪支援のあり方について、意見交換を重ね、地域支え合いの体制整備を進めたい。（除雪支援活動） 町内住民からは好評を得ており、次年度以降もこのような機会を町内会で検討してもらいたいという要望があり、事業継続に向け協議していくこととした。（防犯防災教室、健康教室）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 財政面の課題もあるが町内会においての人材不足、後継者育成が課題。40代からの若い世代の役員登用を検討するなど、町内会活動への理解と協力を呼び掛けたい。 昨年度改修した集会所については、今後修繕（トイレ水洗化）、備品整備（高齢者に配慮した座椅子等）が必要となる。町内会において計画的な積立をしているが、行政からの支援があればありがたい。 集会所を拠点として健康教室、夏祭りなどの事業を充実させ、町内会の活性化を図りたい。

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 集会所改修 和室8畳間の床修理、畳張替え、既存天井解体、天井張替 和室6畳間の床修理、畳張替え ホール改修、天井張替、屋根改修工事 1階既存外壁解体、外壁張替、塗装工事（軒天、破風塗装、2階外壁）
成果	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が著しかった和室の改修、雨漏れ修理、外壁塗装等の改修を行った。 安全面からも町内の喫緊の課題となっていた施設の改修を行うことができ、町内住民より好評を得ている。 優先順位を町内住民と確認し合いながら、効果的な改修を実施することができたと思う。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ソフト事業を充実させ、集会所を拠点に地域活性化を図りたい。 老朽化が著しい建物であり、今後も改修を行う必要がある。財源確保が最大の課題だが、計画的に改修を実施していくために、町内会費の積み立てについても今後、協議していきたいと思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 本事業実施あたり、町内会ワークショップ、役員会等の実施により町内会住民の意見交換を重ねた。今後も町内会活動の活性化のため、住民の意見交換と交流の場づくりを大切にしていきたい。

田町 町内会

人口	295 人	世帯数	134 世帯	高齢化率	48.5%
田町 町内会 ビジョン	策 定	平成 26 年 5 月 2 日策定			
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所トイレの使い勝手が悪く、利用頻度が低い。 ・緊急避難場所として公民館を活用するため、設備の充実が必要である。 ・町内行事などに幅広い世代の参加が少なくなっている。 			
	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所を中心に気軽に集える町内 ・防犯、防災対策で安全安心で暮らせる町内 ・きずなを深め、楽しめる行事がある町内 			
	活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修（トイレ、暖房設備など） ・集会所での健康教室、お茶会の開催 ・発電機配備などで1次避難場所とする。 ・夏祭り、グラウンドゴルフ等交流事業 ・花だんづくり、掲示板の設置 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修 排水設備整備（下水道接続、汚水柵設置） トイレ改修（大便器1、暖房便座1） トイレ内装改修（トイレ床、壁、天井クロス張り） 台所リフォーム（流し台1、調理台1、ガス台1） カーペット張替え、床補修 ・備品整備 レンジ1、湯沸器1、ストーブ1、血圧計1、パソコン1、掃除機1 座卓テーブル、楽座椅子
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの洋式水洗化は、高齢者から好評を得ている。 ・ストーブ更新により、全体を早く温めることができる。 ・老朽化した床を張り替え、カーペットを張り替えたことで集会所全体が明るくなった。掃除機を購入することで清潔さを保つことができている。 ・水回り整備により、衛生面が向上したことで利用者増につながっている。 ・集会所備品の充実により施設の利便性が向上したことで、各行事の参加者が増え、ゆっくり過ごしてもらえるようになった。 ・パソコン設置により、回覧、お知らせ、資料作りに役立っている。
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね環境が整ったので、いかに利用頻度を上げ参加できる教室等（健康づくり、料理教室、趣味を活かした教室）を開催できるかが課題になる。 ・役員の負担が大きくなり過ぎないように、議論して実行できればと思う。 ・エアコン、テレビ、冷蔵庫など集会所でゆっくりくつろいでもらうために要望されている備品はあるものの、その財源を確保していく必要がある。 ・施設が全体老朽化しているため、財源確保のための積み立てを検討する。
そ の 他	

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（花壇整備、会館草刈り） ・一般伝統行事（夏祭り、グラウンドゴルフ大会、秋祭り） ・健康づくり（健康教室） ・情報発信（掲示板設置）
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担により円滑に事業推進され、町内における景観美化に対する意識が向上した。（花壇整備、会館草刈り） ・いずれも多数の参加者により盛会、町内住民の親睦を深めることができ町内住民より好評を得た。（夏祭り、グラウンドゴルフ、秋祭り） ・定期参加者が増え、町内住民の健康への意識の向上に寄与することができた。（健康教室） ・町内行事をはじめ町の行事、警察署からの注意喚起、学校のお知らせ等、幅広い情報提供ができている。町内会活動に対する住民の関心を高めることができた。（掲示板設置）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続し町内の景観美化に努めていく。花壇整備については、コンクールへの参加を検討している。（花壇整備、会館草刈り） ・支援事業がなくなるが、次年度以降も継続のため経費節減しながらも皆が楽しめるよう事業を見直していく。（夏祭り） ・会費を徴収しながら今後も継続していきたいが、参加者減とならないよう、内容も工夫していく必要がある。（グラウンドゴルフ、秋祭り） ・今後、町内会行事ごとに血圧測定器を積極的に使用してもらおうよう呼びかけ、町内住民の健康意識の向上を図る。（健康教室） ・タイムリーな情報発信に努めるとともに、長く使用できるよう、掲示板の維持管理に努めていく。（掲示板設置）
そ の 他	

今町 町内会

人口	139人	世帯数	62世帯	高齢化率	41.0%
今町 町内会 ビジョン	策定	平成28年9月15日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの機会が少ない。 (町内会活動の低下、若者との交流機会の減少) ・生活に不安 (高齢者の日常生活、緊急時の対応、防犯・防災対策) ・景観美化・維持 (側溝の泥上げ、ゴミ集積箱の改修) 			
	目標	・町内住民の絆を深めながら、みんなが安全・安心に暮らせる町内会			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易物置の設置 ・景観美化活動(側溝の泥上げ) ・景観美化活動(ゴミ集積箱の改修) ・交流事業の推進 ・災害対策(防災教室等) 			

元気な地域づくり活動支援事業(元気なムラづくり活動支援事業)	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動(清掃活動、ゴミ集積箱設置) ・生活支援活動(防犯対策事業) ・地域ふれあい(視察研修)
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・すずむし団地内の道路の側溝の泥上げ作業を実施。団地内の全戸が参加し景観美化事業に取り組んだ。事業実施後は、地域住民より「水はけが良くなった」、「蚊の発生が例年より少なくなった」という成果報告がある。予想以上に多数の町内住民の参加があり、共同作業を通じて交流も図られた。 (清掃活動) ・更新した箇所地域住民から好評を得た。これまでゴミ集積箱がなかったところは、ポリバケツによる対応であったため、利便性、衛生面ともに大きな効果があった。 (ゴミ集積箱設置) ・自主防災訓練、災害用備品の配備等により、安全・安心な地域づくりを推進することができた。高齢者の方々の不安解消にもつながった。備品管理を各班長が責任を持つことで、防災意識を高めることができた。 (防災対策事業) ・視察、交流会を通じて、町内住民の親睦、交流を深めた。コミュニケーション不足が町内会の大きな課題であったが、本事業を通じて特に女性を中心とした交流が活性化されてきている。 (視察研修)
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を契機として、長年実施できなかった清掃作業(側溝の泥上げ作業)を実施することができた。今後も事業を予算化し、継続して実施していくこととした。 (清掃活動) ・班長を中心として管理を行い、長く使用できるよう努めていきたい。 (ゴミ集積箱設置) ・防災訓練等を継続して実施していく。防災意識を高めながら、町内会を中心とした自主防災組織の早期設立を目指す。 (防災対策事業) ・今後の事業展開について意見交換し、規模を縮小させながらも地域住民が交流できる事業を継続していくということで合意形成した。 (視察研修)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・最終年からのスタートとなり実施は遅れたものの、事前のワークショップの開催により、取り組むべき課題、事業を集約することができたため、短期間でも非常に大きな効果を上げることができたと感じている。安全安心な暮らしの確保のため、今後は自主防災についての取り組みを推進していきたい。 ・本事業は、町内会活動活性化の契機となった。町内会ビジョンの進捗状況を確認するうえでも、隔年実施でも良いので、行政と協働で町内会活動に取り組んでいけるような支援があれば良い。

元気な地域づくり活動支援事業(既存集会所改修等支援事業)	
事業概要	・簡易物置(18.77㎡)、建築確認申請
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会において集会所がなく、テント、祭典等の町内会備品をはじめ、防災用発電機、投光器などの保管場として簡易物置を設置した。 ・大型の簡易物置を設置することで、災害発生時に使用する高齢者の救助用のタンカー、一輪車、防火バケツ等を配備することが可能となり、安心・安全な地域づくりを進めることができた。 ・高齢化社会において、助け合いの精神を深めることにつながった。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易物置の管理について、ボランティアを募集しながら維持管理に努めていきたい。 ・今後、町内会活動用備品及び防災用品等の保管庫として有効活用を図る。 ・物置周辺の草刈り等の整備によって、環境維持に努める。
その他	・本事業を通じ、ワークショップ、役員会、総会等により町内住民が意見交換をすることで、相互の交流が深められたことも大きな成果と評価している。

御蔵町 町内会

人口	35人	世帯数	15世帯	高齢化率	54.3%
御蔵町 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・近所づきあいが希薄になりつつある。 ・町内で情報交換の機会が少ない。 ・空き家が増え景観が悪化してきている。 ・ごみ集積場所でのカラス等による被害が増えている。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・景観を維持してイメージアップを図る。 ・情報交換を推進する。 ・町内の助け合い、譲り合いの精神を高める。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・カラスや猫の被害から守るため、ごみ集積箱を設置 ・町内の清掃活動に力を入れる。 ・年1回の視察研修旅行を開催 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	・事業活用なし
成果	
今後の方針 課題等	
その他	

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（ゴミ集積箱設置、町内清掃活動） ・地域ふれあい（研修親睦旅行）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新規にゴミ集積箱を設置、あわせて周辺の清掃活動により町内の景観美化、環境衛生の向上が図られた。利用もしやすくなり、高齢者への日常生活支援にもつながった。（ゴミ集積箱設置、町内清掃活動） ・視察内容の工夫したことで多数の参加があり好評を得た。事業を通じ、町内会活動や地域課題について意見交換が活発化し、有意義な交流機会とすることができたと評価している。本事業により、町内会に対する住民の関心が高まり、町内会活動に対して前向きとなった。（視察研修）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な清掃など、適正な管理に努め、町内住民みんなが大切に使用するよう周知していく。（ゴミ集積箱設置、町内清掃活動） ・来年度からは補助金なしのため、町内会単独費用でやりくりしなければならないので、少ない費用でもより親睦が深まるような計画を練りながら実施していきたい。（視察研修）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向け、色々な意見交換の場を持つことができ、有意義なものとなったと感じている。今後は町内会単独費用で実施しなければならない。計画的に、より少ない費用でも魅力ある事業の創出に努めたい。 ・本事業活用の成果として、次年度以降も継続的に事業を実施していけるようにしていきたい。

小池町 町内会

人口	34人	世帯数	15世帯	高齢化率	58.8%
小池町 町内会 ビジョン	策定	平成28年12月28日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・交流機会が少ない 町内住民の多くが商店を営んでおり、町内会行事は年に1回の総会のみで、住民が集まる機会がほとんどない。 ・除雪対策 高齢者世帯が多く、冬期間でも安心安全に暮らせるようにするため、共助型による除雪対策が必要である。 ・地域の支え合い 健康な人が多く、他人に頼らず自分でできると考える人が多いが、除雪や災害等の緊急時の地域支え合う体制整備が必要である。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集まるきっかけづくりにより、住民同士仲が良い町内会を目指します。 ・安心安全な暮らしのため、住民同士が助け合う町内会を目指します。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動 花壇づくりや清掃活動等の協同作業により、町内の景観美化に努めます。 ・小池お助け隊の設置 町内住民、他出者、近隣町内の協力者等による「小池お助け隊」を設置し、小池サロン、除雪支援事業の運営をサポートします。 ・小池サロンの開催 除雪、災害対策等の地域課題に対する話し合いの場を設け、町内住民が集まり、協力し合うキッカケとするため小池サロンを開催します。 ・除雪支援事業 特に高齢者にとって課題である除雪について、共助により支え合える体制づくり、備品整備を進めます。 ・景観美化活動、小池サロン、除雪支援事業から町内のコミュニケーションを深め、強い絆がある町内会づくりを進めます。 			

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援活動（除雪支援事業、小池お助け隊活動） ・地域ふれあい（小池サロン）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化している町内住民の除雪支援活動のための除雪機を購入。流雪溝と除雪機を活用し、除排雪に地域一体となって取り組むことができた。町内会の課題に対して、若い世代も交えて意見交換できたことが大きな成果である。（除雪支援活動） ・町内住民ボランティア、他出者や町外協力者からなる「小池お助け隊」を設置について協議した。除雪支援事業のみの活動からのスタートとなったが、役員を中心となって活動した。除雪支援事業については、地域住民からの好評を得た。（小池お助け隊活動、小池サロンの開催）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・町内住民の高齢化により、今後は除雪作業がより深刻な町内の課題となってくる。整備した除雪機を活用しながら、より効率的な体制整備を地域全体で考えていく必要がある。 ・今後も話し合いの場、交流の機会をつくりながら、地域課題である除雪対策について、効果的な方法を考えていきたい。配備した除雪機に係る今後の経費については、町内会で予算化を確認した。（除雪支援活動） ・今後も除雪支援を中心として継続していきながら、支援（お助け）活動、サロン開催を展開できるようにしていきたい。（小池お助け隊活動、小池サロンの開催）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・最終年度からの遅い事業開始となったが、共通の地域課題であった除雪支援事業についての取り組みをスタートできたことは、町内会として大きな一歩となった。 ・今後、お助け隊を中心として地域住民が集う場づくり、意見交換の場づくりを進めていきたい。

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	・事業活用なし
成果	
今後の方針 課題等	
その他	

川原町 町内会

人口	27人	世帯数	14世帯	高齢化率	66.7%
川原町 町内会 ビジョン	策定	平成27年8月3日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が高く、日常生活（特に冬場の除排雪）に不安がある。 ・高齢者の一人暮らしや二人暮らし世帯が多く、安心安全面で不安がある。 ・町内会伝統行事がなく、町内住民が集まる場所は年度末の総会のみ。町内住民の交流の場が少ない。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・町内住民同士の交流、若者との交流がある町内会。 ・日々の生活に関して不安をなくし、安心して生活できる町内会。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪支援事業（オペレーター付き除雪機リース）の試験的実施。 ・除排雪支援事業についての検討会。 ・町内外の視察研修旅行を実施 町内：北ノ又、農家レストラン、新消防庁舎等 町外：除排雪の先進地等 ・町内の公共施設等を活用してふれあいサロンを開催する。 ・健康に関する意識を高め、町内住民が集う機会づくりを行う。 			

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援活動（雪対策事業） ・地域ふれあい（視察研修旅行、ふれあいサロン）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題である除雪について意見交換し、業者と協働による除雪活動を試験的に実施。現地シミュレーションを実施することで、流雪溝の利用や各戸の除雪状況、作業労力、危険箇所などをお互いに確認することができた。地域全体での取り組みにより連帯感が強まった。本事業をきっかけに、町内会活動の実施、交流事業の開催に前向きとなった。（雪対策事業） ・数十年ぶりに町内住民で旅行に行くことができ、コミュニケーションを深める良い機会となった。（視察研修） ・集まるキッカケづくりとして住民の関心度が高い、防災活動や健康づくり等をテーマとしたサロンを開設、親睦を深める機会となった。（ふれあいサロン）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・支援事業なく同様な取り組みを継続させていくことは難しいが、地域ぐるみでの除雪対策について検討を進めたい。（雪対策事業） ・仕事をしている家が多いので、全員が集まることは難しいかもしれないが、企画等もできれば良い。（視察研修） ・次年度以降も除雪についての話し合いを行う際に集まってサロンを続けていく予定（ふれあいサロン） ・研修旅行やサロンで町内住民同士の交流を深めることができた一方で、どうしても参加者が固定化してしまう。 ・支援事業がなくなっても集まるきっかけとしてふれあいサロンを年数回開催し、その中で除雪事業を継続するか、などの話し合いも行うことに決めた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・商店も多く、日中仕事をしている人がいることからサロンの時間を夜にするなど工夫をした。 ・除雪支援は、業者との連携を密にすることができた。町内のクランクは、小学生の通学路であり、特に危険箇所であるが事故なく無事事業を終了することができた。 ・各行事、夫婦での参加もあり、賑やかであった

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活用なし
成果	
今後の方針課題等	
その他	

新町 町内会

人口	98人	世帯数	44世帯	高齢化率	35.7%
新町 町内会 ビジョン	策定	平成27年5月11日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 町内会活動において、参加する人は限られている。町内住民の4割は活動が停滞していると感じている。 若い住民が多く、町内会役員としても活発的に活動している。町内会に若い力が加わった中で、若い年代と年配者との世代を超えた交流や近所付き合いは希薄になっている。 一人暮らし世帯の防災防犯に関する心配や健康に関する不安がある。その部分を町内会としてサポートしていかなければならない。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 町内会行事を通して、世代を超えた交流がある町内会を目指す。 共に助け合い、協力し合う町内会を目指す。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> 町内の景観美化を図るため、ゴミ集積箱の更新、補修を行う。 秋の体育レクリエーションや子ども会を中心としたイベントにおいて、子ども・若者・高齢者と町内住民の多くが参加し、楽しめるような企画を考え、運営する。 安心して生活できるよう、防犯防災に対する知識を深める。 高齢者が安心して生活できるように除雪支援等の体制づくりを行う。 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	
成果	
今後の方針 課題等	
その他	

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 景観美化活動（ゴミ集積箱設置） 一般伝統行事（夏の花火大会）
成果	<ul style="list-style-type: none"> カラス等の被害がなくなり衛生面の向上が図られた。統一されたゴミ集積箱が整備されたことにより、町内の美観が向上した。町内会の共有財産が整備されたことにより、町内会の連帯意識が向上した。（ゴミ集積箱設置） 転入住民の参加が盛り上がりを助長し、町内全体の親近感が高まった。前例のない行事を創り出したことで、町内会活動に対する関心が高まり、事業継続の方向性を見出すことができた。役員会において成果と反省を検証し、参加者に喜ばれるイベント構成に努めたことは、役員間の結束力が高まり励みとなった。新しいイベントの創出によって、運営側の役員と参加者である住民の信頼関係が構築され、良好なコミュニティ形成に成果があった。（夏の花火大会）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> 夏の交流イベントは、町内会住民の総意で継続する方向である。町内会単独経費での開催となるため、予算規模を縮小して、工夫しながら実施することを申し合わせ済である。 備品管理者を町内会長とし、個々の維持管理は各組の住民の責任のもと管理にあたることを総会において確認した。町内会の共有財産として、備品の適正管理に努めていく。（ゴミ集積箱設置） 町内会には、継続して新築住宅が建ち、今後も移住者等を迎える可能性を持っている。新しい住民を受け入れ、新たなコミュニティを構築していくためにも住民交流イベントは必要であり、本事業を契機に夏のイベントは継続していくことで合意している。（夏の花火大会）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 町内会初の試みであった夏の交流イベントは、参加住民の反応を見る限り成功であったといえる。住民が楽しく交流する光景は、事業の活動主体を担った役員の励みとなり、本事業による町内会力のパワーアップは高く評価できる。

一番町 町内会

人口	62人	世帯数	31世帯	高齢化率	58.1%
一番町 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会行事用備品の保管場所が個人宅となっている。 ・若者など行事への参加者が少ない。 ・高齢化が進んでいるほか、世代間交流も少ない。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事を継承しやすい環境を整え、スムーズな世代交代を行う。 ・町内の絆を深め、活気ある町内会を維持する。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町内備品保管のため簡易物置を整備 ・五城館などで高齢者の引きこもり防止のためのサロンを開催 ・世代間を超えて集える事業への取り組み 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	・簡易物置設置（3.18坪）、建築確認申請
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会備品はこれまで役員数人が分担して保管していたが、個人の負担がなくなった。 ・町内備品を一括で保管することができ、管理がしやすくなった。 ・保管場所が町内の通りに面しており、運搬・片付けが楽になった。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・物置設置場所は借地であり、契約期間（10年後）更新がなされない場合、新たに借地を確保する必要がある。 ・物置の更新時期を見据え、更新のための資金を積み立てる必要がある。 ・町内会備品リストを作成し、誰にでもわかるよう物置内へ備え置く。 ・町内会備品の取扱い注意書作成、及び機器類の取扱い説明書を作成し、物置内へ据え置く。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会備品を役員の数人が分担して保管していたので、個人の負担がなくなり喜ばれている。 ・町内会員の高齢化が進むなか、祭典時の飾りつけ及び後片付けが容易となったことで大変喜ばれている。

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（害虫駆除） ・一般伝統行事（レクリエーション、祭典行事） ・生活支援活動（高齢者ふれあいサロン） ・地域ふれあい（視察研修旅行）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・アメシロ及びマイマイガ駆除のための備品を整備、発生時には、迅速に町内会として対応できる体制整備を図ることができた。（害虫駆除） ・町内にいても疎遠となってしまっている方たちとも交流、親睦を深める機会となった。（レクリエーション、視察研修旅行） ・祭典予算を切り詰めているなか、新たな負担なく備品整備できたことは、祭典参加に疑問を持つ方々の心情を和らげた。空き地にテントと紅白幕を張り、祭りを盛り上げて行えるようになり喜ばれている。（祭典行事） ・自主防災会の必要性について理解を得ることができた。健康維持や介護予防対策の必要性が認識された。久々に顔を合わせる人たちもいて、有意義な懇談会を行うことができた。（高齢者ふれあいサロン）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中、町内会や防災会の運営・活動を効果的に実行するには、若い人たちの参加協力が必須条件となるため、十分な理解を得られるよう工夫が必要。高齢化が進み、肉体的作業を伴う事業（側溝の泥上げ等）については、近い将来厳しい状況にある。ケガをする可能性も高くなり、その責任を町内会が負うことになるのかなどの課題がある。事業は徐々に、限定的かつ制約されたものとなる。 ・備品取扱い方法の説明会を開催するほか、説明書を含めた備品管理を徹底し、有事に円滑な対応ができるよう努めていく。（害虫駆除） ・町内住民の交流を目的とした事業のニーズが多く、今後も継続していきたい。今後の町内活動の継承と活性化を図るために、若い人たちに参加を働きかけていく。（視察研修旅行、レクリエーション） ・祭典備品を長持ちさせるため、維持・管理を一層丁寧に行う。（祭典行事） ・自主防災会の規約、計画（案）を町内会の実情に合った内容に再度検討する必要がある。このような事業を継続したいが、予算上厳しく、特に災害時の避難について総会毎に説明を繰り返し、周知徹底を図る。災害時の要援護者支援を行うにあたり、個人情報ではあるが、高齢者等の健康状態などの情報収集が必要である。（高齢者ふれあいサロン）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・例年の町内会事業に比べ参加率も高く、好評を得ており、各事業とも意義ある内容であったと評価している。 ・災害時にみんなで協力し、支え合う意識が強くなった。

古川町 町内会

人口	110人	世帯数	58世帯	高齢化率	48.2%
古川町 町内会 ビジョン	策定	平成26年6月27日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・行事に老若男女など幅広い世代の参加が少ない。 ・町内会組織の見直し、再編が必要である。 ・集会所がないため、気軽に集まり、お茶や人と話をする場がほしい。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古川町で楽しく仲良く生活ができるように、現状のまま維持していきたい。 ・一年中、安全・安心に暮らせる古川町にしたい。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・子供中心の行事、七夕、盆踊り、夏まつり、グラウンドゴルフ大会などにより世代交流を図る。 ・五城館で「古川町の日」をつくり、町内会人たちが集まって、健康教室などを開催する。 ・お不動さんの集まりの範囲を広げ、次世代に引き継ぐ。 ・高齢者の見守り活動を行う。 ・町内の絆を深め防犯防災に努める。 ・景観の美化に努める。(ごみ集積箱更新) 			

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	・景観美化活動（ゴミ集積箱設置）
成果	・町内から要望のあった老朽化が著しいゴミ集積箱を更新し、周辺環境美化衛生を図ることができた。既存のものより利用しやすくなり、町内住民からより好評を得ている。
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画どおりの事業実施であり、特に問題ない。 ・計画的に町内のゴミ集積箱の更新することで、町内会の合意を得ており、引き続き町内の環境衛生に努めたい。
その他	

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	・事業活用なし
成果	
今後の方針 課題等	
その他	

紀久栄町 町内会

人口	224人	世帯数	102世帯	高齢化率	20.5%
紀久栄町 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会行事用備品の保管場所が個人宅となっている。 ・老人世帯が多い。 ・アパート入居者とのふれ合う機会が少ない。 ・カラスの糞害が深刻である。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も若者も、健康で楽しく暮らせる町内会 ・みんなが顔見知りの町内会 ・美しい景観を維持し、活気ある町内会 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・物置として町有地を活用して木造平屋建の小屋を整備 ・カラスや猫の被害から守るため、ごみ集積箱を設置 ・祭典、夏祭り、運動会など住民が参加できる機会を増やす。 ・五城館を活用した健康教室の開催 			

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（ゴミ集積箱改修、花壇づくり） ・生活支援活動（手料理教室） ・健康づくり（高齢者健康教室） ・地域ふれあい（夏まつり）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットを被せるだけのゴミ集積箱であったが、2か所に3基を設置し、周辺環境美化を図ることができ、カラス対策にもつながっている。町内住民からより好評を得ている。（ゴミ集積箱改修） ・新しい花壇を造成したことにより、きれいな花壇となり景観美化につながっている。秋田市の花壇づくりを視察研修を行っている。（花壇づくり） ・世代間交流を図るための雪祭りなどを開催し、空き地の利用、大人と子どもの交流を図ることができた。（地域ふれあい） ・年配の女性会員が若い会員に昔ながらの手料理の作りかたを伝授する良い機会となり、世代を超えたふれあいの提供ができた。（手料理教室）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流行事については好評を得ているので、今後も継続して実施していきたいと考えている ・本支援事業終了後は、予算面で厳しい状況となることが予想される。
その他	

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易物置設置（4.14坪）、建築確認申請
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会備品はこれまで会長宅で保管していたが、個人としての会長の負担がなくなった。 ・町内備品を一括で保管することができ、管理がしやすくなった。 ・保管場所が町内の通りに面しており、運搬・片付けが楽になった。
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・物置設置場所は町有地であり、適正に管理する必要がある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・祭典時の飾りつけ及び後片付けが容易となったことなど、利便性が向上したことが喜ばれている。

新畑町 町内会

人口	300人	世帯数	135世帯	高齢化率	34.7%
新畑町 町内会 ビジョン	策 定	平成26年5月2日策定			
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会活動に無関心な住民が増えている。 ・空き家が増え、景観維持に悪影響を与えている。 ・町内会活動に率先して取り組む役員が不足している。また、役員になりたがらない住民が増えている。 			
	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が中心となって、町内の世代間の交流を図り、絆のある町内会を目指します。 ・安全安心に暮らせる町内会を目指します。 			
	活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・稲荷公民館を廃止し、簡易物置を整備 ・みんなが集う行事として夏祭りを開催 ・自主防災活動として定期的に教室や訓練を実施 ・花だんづくりを通して、交流の場づくりを行う。 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	・簡易物置（14.89㎡）、建築確認申請
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会備品は、一時的に町内会役員が保管していたが、簡易物置を整備することができ、適正な管理がすることができるようになった。 ・町内会所有の備品を確実に継承していくことができ、役員をはじめ、これからの町内活動を担う若い世代からも好評を得た。
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト事業（元気なムラづくり支援事業）においても町内会活動用の備品を整備することができた。これらの備品の有効活用、適正な管理に努め町内会の活性化を図りたい。 ・町内会、子ども会等の行事用備品を保管する倉庫として、しっかりと備品管理に努めるとともに、それに対応する効果的な町内事業を進めていきたい。 ・物置を設置している土地は、個人からの借用地であり、周辺環境整備を含め、適正な管理保全に努めていく。
そ の 他	

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般伝統行事（夏祭り） ・生活支援活動（健康相談教室、防災対策教室） ・地域ふれあい（研修旅行） ・情報発信（町内会だより発行）
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・購入した備品により、町内会活動の運営がスムーズなものとなった。これまで大人の交流が中心であったが、子供会を中心とすることで若い人たちの多数の参加があり、世代間交流を深めることができた。（夏祭り） ・時期的なこともあり、インフルエンザの注意事項について、町の保健師さんからの詳しくお話頂き、参考になったと参加者から好評を得た。また、血圧測定の後、健康手帳を作成していただき、こちらも好評であった。（健康相談教室） ・消防署職員による応急手当についての講習等により、地域住民の防災意識の向上を図ることができた。（防災対策教室） ・町内の子供会の初めての研修旅行ということで、多少不安もあったが、多数の参加があり、交流が深められ有意義な事業となった。これまでは、予算面でも、バス代負担が大きく、企画が難しい内容であったが、本支援事業により少額の自己負担で実施することができ、大変感謝していると参加者からの声があった。（研修旅行） ・デザインも良く、カラー印刷の事業チラシとしたため、分かりやすく、参加者増に効果があったととらえている。（町内会だより発行）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・後片付け終了後、町内役員と子供会役員の交流を行い、次年度に向けた計画や今後の活動について意見交換を行った。次年度以降も、開催に向け前向きに検討していくこととなった。（夏祭り） ・健康づくり教室の後、参加者で交流会を行い今後の事業展開について意見を頂いたところ、定期的な開催を望む声が多く、町内会において検討を進めることとした。（健康相談教室） ・今後は防災計画等についても説明会を開催したいという声があり、検討していく。（防災対策教室） ・今後も町内会で多世代が交流できる研修事業を企画し、住民相互の交流を深めていきたい。（研修旅行） ・次年度も夏祭り開催を予定しており、事業の周知と参加者増のための工夫をしながら継続していきたい。（町内会だより発行） ・町内会としては、ほとんど初めての事業であったが、子供会、老人クラブ等の協力で無事に事業を終えることができた。 ・今後も多くの参加が得られるよう、町内会活動を企画していきたいが、事業計画をするスタッフ不足が現状の悩みである。
そ の 他	

東磯ノ目 町内会

人口	311人	世帯数	122世帯	高齢化率	28.0%
東磯ノ目 町内会 ビジョン	策定	平成27年8月11日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所（物置場所）がほしい。 ・町内行事に幅広い世代が参加してほしい。 ・町内が広く、冬場の除排雪作業が大変である。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ競技への積極的な参加で健康づくりを推進する東磯ノ目。 ・次世代と交流を図り、明るい町内づくりを推進する東磯ノ目。 ・各種イベントを通じて、近隣世帯と絆を深める東磯ノ目。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・神明社祭典への参加 ・老人クラブを中心とした空き缶の収集、ゴミ箱の修理、アメシロ予防 ・視察研修の実施、運動会への参加、納涼祭の開催、町内及び河川クリーンアップへの参加 ・災害時の避難場所の確認と訓練 ・登校時の子供見守り隊の継続 ・七夕まつりへの参加 ・地域ふれあい事業（視察研修旅行、七夕まつり参加、納涼祭） 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	・事業活用なし
成果	
今後の方針 課題等	
その他	

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般伝統行事（祭典行事等） ・地域ふれあい（七夕まつり、納涼祭、視察研修旅行）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・購入した備品の活用により準備、設営が円滑なものとなった。明るい雰囲気となり、町内住民からも好評を得ている。会員の意思の疎通を図るうえで成果があった。（祭典行事） ・絵燈籠の製作時と七夕まつり当日の子どもたちの熱中症対策を十分に行うことができた。子どもたちが自主的に参加する環境を整えることができた。次年度につながる機材を購入することができた。（七夕まつり） ・子どもから高齢者まで多数参加があり、世代間交流を深めることができた。（納涼祭） ・視察研修を通じて、またバス車内においても会話がなされ、町内住民の親睦を深めることができた。（視察研修旅行）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した備品は今後大切に管理し、町内会行事において積極的に活用していくとともに、各種行事の内容を濃いものとし、多くの方が町内会行事に参加してもらえるよう努めたい。（祭典行事） ・来年度も継続して地域行事である七夕まつりに参加する。年々、育成会員が減少傾向にあるので、どのようにこの事業を維持していくか会員相互で検討していく必要がある。（七夕まつり） ・恒例の町内行事として定着してきている。今後も多数の人が参加するよう工夫しながら、事業を継続させていきたい。（納涼祭） ・支援事業の計画は今回で最後である旨を住民に伝えたところ、違う形で事業は継続していきたいということと、また別の支援があればいいという要望があった。（視察研修旅行）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・いかに町内行事への参加人数を増やすか、幅広い年代から意見を聴取し検討していく必要がある。ただ、高齢化が進みどうしても参加できない会員も多くなってきていることも現状である。 ・町内会行事にご理解とご協力を頂いた方々に深く感謝している。イベントについては創意工夫により、より盛会なものとなるよう努めていきたい。

西磯ノ目 町内会

人口	226人	世帯数	84世帯	高齢化率	31.0%
西磯ノ目 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の拠点施設となる集会所が必要となっている。 ・みんなが集い、世代間交流もできる憩いの場が必要となっている。 ・みんなが安心して暮らせるよう、町内会の絆を深め、緊急時の対応も必要となっている。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の拠点施設となれる集会所の設置 ・安心して暮らせるための防災対策として、自主防災組織の立ち上げ 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易物置小屋を整備する。 ・自主防災組織を立ち上げる。 ・班編成を見直し見守り体制と連絡体制を整える。 ・景観形成のため花だんづくりやふれあい農園を整備する。 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易物置（5.75坪）、建築確認申請 ・土地造成工事（対象外事業） 瓦礫撤去、敷地整備 550㎡、取付道路工事砕石敷均し 36㎡
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・西磯ノ目町内会には集会所がないことから、これまでは、町内会の行事用備品は、町内会役員が保管していたが、今回、簡易物置を整備することができたことから、今後は、町内会の備品等を一括保管でき、適正な管理をすることができるようになった。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の備品について、これまでしっかりとした管理がなされていなかったため、今後については管理台帳の整備を図りたい。 ・町内会に備品保管庫ができたことから、今後は、町内会及び老人クラブの行事用備品を保管する倉庫として、適正な備品管理に努めるとともに、効率的な事業展開を図りたいと考えている。 ・物置を設置している土地については、適期、草刈りなどを行ない、適正な管理保全に努めるとともに、今後の土地利用についても検討を進めたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・行事用備品を一括して保管する倉庫ができたことから、効率的な事業展開を図ることができるようになった。

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般伝統行事（清掃活動、ゴミ集積箱、花壇づくり） ・生活支援活動（秋祭り、アメシロ駆除、地域防災活動） ・健康づくり（健康教室） ・地域ふれあい（世代間交流・夏祭り、ふれあい農園、町内会研修旅行）

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の参加が年々増えてきており、事業によって地域コミュニティづくりが推進できている。（清掃活動） ・周囲の管理についても考慮、町内の景観、明るさが保たれイメージアップにもつながった。（ゴミ集積箱設置） ・老人クラブと町内会の協働作業により町内の景観美化が図られた。前年の反省を活かしながらの取り組みができています。（花壇づくり） ・老若男女がこぞって参加でき、地域住民のコミュニケーションが図られた。（秋祭り） ・町内会の環境衛生のため実施、住民からの評判もよく成果があったものにとらえている。（アメシロ防除事業） ・消防署による救命講習を実施、救命救急時の対応の意識向上が図られた。（地域防災活動） ・食生活改善をテーマとした健康教室を実施、参加者の関心も高く、盛会。日常生活からの健康づくりに住民の意識を高めることができた。（健康教室） ・親子のふれあい、世代間交流を更に深める親睦事業として実施、目的を十分に達成することができた。（世代間交流・夏祭り） ・地域住民の交流を深める機会として、また町外に視点を向け研修することで、町内会活動の活性化に結びつけることができた。（町内会研修旅行） ・町有地を借用し、地域住民が自由に集えるふれあい農園を開設、高齢者の生きがいづくりの場として整備した。（ふれあい農園）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会周辺環境整備として、道路・河川の環境整備に行政とともに町内会活動としても実施を検討していきたい。（清掃活動） ・更新できなかったゴミ集積箱についても町内会で年次計画を立てながら実施し、町内会の衛生管理に努めていく。（ゴミ集積箱設置） ・近年参加不足となってきている高齢者に配慮した環境づくりに努めるとともに、後継者育成・指導に努めていく。（花壇づくり） ・高齢者の参加呼びかけに力を入れ、町内会行事として継承していきたい。（秋祭り） ・環境衛生活動として、地域支え合いの精神で事業を継続していく。（アメシロ防除） ・地域住民の健康、安全・安心な暮らしができるよう健康教育・防災教育の場として今後も継続する。（地域防災活動、健康教室） ・今後も事業の周知と参加呼びかけに力を入れ、町内会事業として継承していきたい。（世代間交流・夏祭り） ・世代間交流がより促進されるように、子どもたちが参加しやすいような事業内容についても検討していきたい。（町内会研修旅行） ・将来的には、花壇も移設して高齢者が交流できる憩いの場として整備を進めたい。（ふれあい農園） ・住民の絆を深めることを目的に実施した夏祭りや秋祭りは盛況であったが、防災教育に関しては、地域住民の関心が低く、参加者も少なかったため今後の課題である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、町内会事業の実施にあたっては、若者の参加が増えてきていると感じている。逆に高齢者の動きが鈍ってきているので、町内会に活気を持たせるためにも、老人クラブからの協力を仰ぎながら事業を進めていきたい。

矢場崎 町内会

人口	280人	世帯数	125世帯	高齢化率	37.1%
矢場崎 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・夕涼み会以外にも住民が集える行事が必要である。 ・町内会活動の拠点となる集会所の設備の充実が必要である。 ・高齢者の雪かきなどが大変となっている。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所が充実し、いつでもみんなでくつろげる場となっている。 ・みんなが気軽に参加できる楽しい行事が行われている。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、エアコンなど集会所の備品を整備する。 ・お楽しみ会、ふれあいサロン、絵手紙教室などの行事を開催する。 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整備 座布団20、座椅子5、血圧測定器1台、テレビ設置1台、ブルーレイ1 エアコン1、エアコン室外機カバー1、煙突穴移動工事1、座椅子8 ガステーブル1、ガス湯沸器1
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所備品の充実により施設の利便性が大幅に向上し、集会所利用が増えて交流機会の増加につながった。 ・座布団を補充し、総会時等でも不足することがなくなった。 ・座椅子が配備され、高齢者の参加率が上がった。 ・エアコン設置により、快適に各種会合が開催できた。 ・テレビ、ブルーレイ、血圧測定器は集会所に集う楽しみとなっている。 ・ガステーブル、ガス湯沸器の更新で安全安心な集会所利用が可能となった。
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・電化製品が増えたこと、テレビ設置に伴う受信料など、集会所のランニングコストが確実に増えるため、管理費予算の財源確保が必要。 ・水洗トイレ2台の内、1台は和式であるため高齢者は使用できないとの声が出てきている。洋式化（ウォッシュレット仕様）を図りたい。 ・集会所整備は本事業のおかげで非常に充実した。これからも町内会の核となる場所として大切に活用していきたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した備品を活用してふれあいサロンを開催したところ、これまで町内会行事に参加しなかった人たちが参加するようになった。今後も色々な試みで町内会の親睦を図りたい。 ・集会所使用時は、使用責任者が各項目（ガス元栓、灰皿、コンセント、消灯等）をチェックし、記録することで事故防止を図っている。 ・不特定多数の者が公共の場を利用する場合は、無責任な扱いになりがちなので、各備品は町内会の財産であることを強調し、「自分のものより大切に」をスローガンにしている。 ・集会所は常に整理整頓されており、老人クラブが月1回、清掃活動をしている。

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般伝統行事（夕涼み会、集会所の備品充実を祝う会、お楽しみ会 グラウンドゴルフ大会、鍋っこ会） ・生活支援活動（ふれあいサロン、お茶会） ・健康づくり（絵手紙教室、色鉛筆教室） ・地域ふれあい（視察研修旅行）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の保護者、多くの地域住民の参加があり盛会。盆踊りに子どもたちも参加があり、伝統が少しずつ継承できている。（夕涼み会） ・集会所の設備充実のお祝いを兼ねて開催、地域住民が利用しやすい環境整備ができたこと好評を得た。（集会所の備品充実を祝う会、お楽しみ会） ・多数の参加あり盛会。懇親会では、過去の行事や今後の行事について意見交換することができた。（グラウンドゴルフ大会） ・ダマコづくり等、町内の指導者のもと楽しみながら実施、和気あいあいとして盛会。（鍋っこ会） ・毎月第2、第4水曜日に開催。例年以上の参加があり、特に男性の参加者も増えたことが良かった。（ふれあいサロン） ・緊張感もありながら笑いもあり、住民の親睦が深められた。（お茶会） ・多数の参加があり盛会、町内会予算だけでは困難であったが補助金が活用でき良かった。（色鉛筆教室、絵手紙教室） ・多数の参加があり盛会。高齢の夫婦の参加も多く、一緒に出歩く機会として喜ばれた。（視察研修旅行）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊りの踊り手の高齢化が進み、参加者も減少傾向にあるが、伝統を継承する機会として継続していきたい。（夕涼み会） ・より多くの人たちが楽しめる行事を検討し、実行していく。（お楽しみ会） ・秋の一斉清掃と時期が重なるため実施日を検討し継続する。（鍋っこ会） ・誰でも気軽に参加できるスポーツであり、今後も継続したい。グラウンドまでの送迎について検討したい。（グラウンドゴルフ大会） ・町内住民の要望もあり、今後も継続する。（ふれあいサロン） ・継続を望む声もあるが、検討が必要である。参加者が絵手紙や色鉛筆サークルを結成し、定期的に集まり交流することも良いと考える。（お茶会、色鉛筆教室、絵手紙教室） ・継続実施を検討しているが、バスの借料が高額のため課題。積立方式も検討しているが様々な意見がある。（視察研修旅行）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの事業ごとに実施責任者を決めて取り組んでいるため、事業が町内会全体のものとなっている。全体の応援体制も整ってきている。 ・ふれあいサロンは、お茶飲みだけでなく、様々なアイデアを提案し合いながら実施できている。 ・夫婦で参加できる行事、男性が参加したいと思うような行事を工夫していきたい。

長町 町内会

人口	38人	世帯数	19世帯	高齢化率	63.2%
長町 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・カラスによる被害防止のためゴミ集積箱が必要となっている。 ・高齢化が進み、隣組など町内のふれあいが希薄になってきた。 ・がっこ茶っこの場づくりにより交流を推進する必要がある。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・五城目町で一番長寿の町内を目指す。 ・助け合いの中から、生きがい・やりがいを見出して他の見本となる町内を目指す。 ・老人が安心安全に暮らせる町内を目指す。 ・高齢者ふれあいサロンを空き家利活用のモデルケースとして取り組み、その効果を期待したい。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗を活用した高齢者ふれあいサロンの開設、運営 ・元気なムラづくりの先進地視察研修により、町内会活性化のための気運を高める。 ・景観を重視し木製のごみ集積箱を設置 ・バーベキュー大会の継続実施 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	・事業活用なし
成果	
今後の方針 課題等	
その他	

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（ゴミ集積箱設置） ・一般伝統行事（夏祭り） ・生活支援活動（防災組織設立事業） ・健康づくり（みんなのサロン） ・地域ふれあい（先進地視察研修）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・当番制による集積場所のネット張り等の作業がなくなり、便利となった。カラスによるゴミ散乱の被害もなく、衛生面の向上が図られた。（ゴミ集積箱設置） ・町内の親睦を図り、一人暮らしの方々の孤立防止のためバーベキュー祭りを実施、時間を共有し絆を強くした。屋外行事用の備品が充実したことで、事業の運営円滑化が図られ、今後の行事開催に前向きとなった。（夏祭り） ・互助共助の理念で町内の防災組織をつくるために町外講師を招き組織設立の説明会を実施したほか、非常用セットの活用や配備などについて意見交換。（防災組織設立事業） ・仲町との共同事業としてみんなのサロンを開設。高齢者の孤立防止、多くの町民の対話の場づくりにより、生き生きとした暮らしの確保に寄与した。（みんなのサロン） ・バス車中、昼食時において会話に花咲き、参加者の交流を深めることができた。（先進地視察事業）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・木製のごみ箱のため劣化を防ぐ防腐剤塗装など、町内会で長く使用できるよう努めていく。（ゴミ集積箱設置） ・男女含めて若い人の参加ができる事業として継続していきたい。（夏祭り） ・今後は町内事業として、全戸に非常用セットを配布できるようにしたい。（防災組織設立事業） ・補助事業は終了するが、今後については民間で引き継ぐか、他の補助金を活用して継続をりたい。（みんなのサロン） ・健康で町内住民が仲良くできることは良いことであり、今後も近場で小旅行を計画したい。（先進地視察事業）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む町内であるが、みんなのサロンの開設により、他町内の人との交流する機会が増えた。人が集まっているところには、また人が集まるということが確認できた。 ・みんなのサロンについては、老若男女が集える場所として、今後、行政とも相談し継続を考えたい。

仲町 町内会

人口	70人	世帯数	32世帯	高齢化率	48.6%
策 定	平成26年12月26日策定				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・町内住民の交流が少なく、町内のふれあいが希薄になってきている。隣接町内と連携したふれあいの場づくりも必要になってきている。 ・人口減、高齢化の進展などで空き店舗や空き家が増加傾向にある。景観にも悪影響を与え、地域活性化の妨げにもなっている。 ・商店街や朝市開催等、中心地としての賑わいが薄れてきているため、町内の活気も年々無くなってきている。朝市は、生活市として捉えるべき。 				
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も若者も気軽にふれあえる環境を整え、世代間交流や隣接町内とも交流を図り、町内の絆が深まる町内会を目指します。 ・みんなが安全安心に暮らし、幸せを実感できる町内会を目指します。 				
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の美しい景観づくりのため、清掃活動やごみ集積箱整備を行うとともに、花づくりなどを行う。 ・長町と共同で、空き店舗などを活用し、ふれあいの場「がっこ茶っこ」を開設する。 ・町内住民みんなの健康づくりのため、健康教室などを定期的にふれあいの場「がっこ茶っこ」で開催する。 ・集会所を持たない町内会だが、住民交流の場づくりとして挑戦する。 ・町内も商店街も元気にするため、「仲町元気まつり」を開催したり、先進地の取り組みなどを研修し、地域の活性化に取り組む。 ・自主防災活動や防犯活動に取り組むため、定期的に教室や訓練などを行うとともに、高齢者世帯などの除雪支援についても検討する。 				

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	
成 果	
今後の方針 課題等	
そ の 他	

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（ゴミ集積箱設置） ・一般伝統行事（井戸端会議、ドチャベンコンサート） ・地域ふれあい（みんなのサロン、視察研修旅行）
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・カラスによる被害が少なくなった。清潔で景観も良くなり好評を得た。（ゴミ集積箱設置） ・総会よりも気軽な雰囲気です日常生活の困りごと相談ができ、地域住民の交流が深められた。（井戸端会議） ・朝市プラスの開催に合わせて実施したことにより、多数の参加があった。地域振興、朝市振興に貢献できた。（ドチャベンコンサート） ・地元の方をはじめ他町村の方の利用も多くあった。朝市に来て休むところがないという要望に応え、交流の場を創設できた。（みんなのサロン） ・空き家を利活用した取り組みを視察。芸術に限らず特徴のある体制ができれば人は来てくれると痛感。行政、民間が一体となって活動していくためのビジョンが必要と感じる。（視察研修旅行）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化事業とカラス対策を継続していきたい。（ゴミ集積箱設置） ・ドチャベンコンサートのようにイベントを工夫しながら集客、気軽に交流できる機会を年1回でも計画していきたい。（一般伝統行事） ・みんなのサロンが浸透してきたのに、事業が継続できないのは非常に残念である。朝市振興とも直接関係があるので、行政も検討してもらいたい。高齢者、一人暮らしの方たちに役立つ教室や町の色々な趣味を持っている人たちの社交場となるような場所が必要と考える。（みんなのサロン） ・気軽に意見交換ができ、地域に活用できる場所を研修の場としていきたい。（視察研修旅行）
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントも町内会で協力し合えば、朝市ふれあい館により多く集客できることが理解してもらえたと思う。

米沢町 町内会

人口	91人	世帯数	41世帯	高齢化率	45.1%
米沢町 町内会 ビジョン	策定	平成28年7月5日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の高齢化率、空き家の増加等、安全安心のための取り組みが必要。 ・ 米沢会館がなくなったことにより、町内会の備品管理が課題となっている。 ・ 町内住民の交流の機会や帰省者との交流の機会が少なくなっている。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝市、商店街、朝市ふれあい館、今村邸などの地域資源を活かした交流事業を継続させ、活気があり絆が深まっている米沢町町内会を目指します。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内に簡易物置を新たに設置し、町内備品の管理に努める。 ・ 町内の見回り活動、高齢者一人世帯への声掛け運動を継続して実施する。 ・ 朝市ふれあい館等の公共施設を活用し、料理教室を開催し、伝統料理の継承と住民交流を図る。 ・ 今村邸を会場として、地域住民をはじめ首都圏からの来町者、帰省者、朝市利用客や出店者等、幅広い交流事業を実施する。 ・ 五城目町に居ながらにして知らなかった場所を巡りながら、町の良さを知るとともに町内住民と交流する機会をつくる。 			

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	・ 地域ふれあい（五城目町ツアー、料理教室）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 五城目町に住みながら、町内で訪れたことのない場所も多いため、町の良さを再認識することができた。日程にゆとりをもったことで、高齢者の方の負担も少なく、和やかに地域住民間の交流を深めることができた。（五城目町ツアー） ・ 当日の参加者も多く盛会であった。また、教室運営については、みんなが協力的であり、地域の絆を深めることができた。（料理教室）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終年度からの遅いスタートとなり、2つの事業に絞って実施した。いずれも町内住民の交流を深めることができ成果があったと感じている。 ・ 今後も交流事業から、朝市、商店街、今村邸など町内会が持つ資源を活かすことについて意見交換していきたい。 ・ 限られた自主財源（町内会予算）においてもこのような住民交流を深めるための事業を工夫しながら計画、運営していきたい。（五城目町ツアー） ・ 朝市ふれあい館を拠点とした行事、教室等の開催により町内会活動の活性化を図りたい。（料理教室）
その他	

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	・ 簡易物置（7.98㎡）
成果	・ 備品保管庫の設置により、役員等の個人宅に分散保管されていたテント・祭典用具等の町内会備品の一括保管、管理ができるようになったため、利活用が容易なものとなった。
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、町内会活動用備品及び防災用品等の保管庫として有効活用を図る。 ・ 町内会備品リストを作成し、次世代に確実に継承していく必要がある。
その他	・ 本事業に取り組む時期が遅れてしまったが、優先順位の高い事業を確実に実施することができた。

築地町 町内会

人口	196人	世帯数	80世帯	高齢化率	41.8%
築地町 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層と高齢者とのコミュニケーション不足 ・一人暮らし世帯の増加 ・町内会行事の維持、役員の確保 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所と広場を中心に幅広い年代の住民が集い、ふれあえる町内会を目指します。 ・きれいで活気ある町内会を目指します。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・便利で利用しやすい集会所の改修、住民の憩いの場となる広場の整備を行う。 ・本町部の単一町内会で唯一開催している盆踊りを継承する。 ・安全安心な暮らしを守るため、近所づきあいを深め、見守りや声かけ運動を行う。 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修 玄関サッシ、台所給湯設置工事、トイレ改修、襖改修 ホール建具補強工事、入り口スロープ、不凍栓設置 ・備品整備 液晶テレビ1、DVDプレイヤー1、カラオケ機材1、座椅子13
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・築地会館は町内会にとって大切な拠点としてとらえている。施設の長寿命化を図るための工事実施により、地域住民の会館への愛着が醸成された。 ・特に高齢者、小さな子供にとっての危険が解消されたことにより、施設の利用促進を図ることができた。 ・今回の改修により、これまで水しか出なかった台所の水栓がお湯もだせるようになり、トイレも快適に整備され利便性の向上につながった。 ・玄関サッシ、襖の改修により建物の美観を保ちながら、老朽化を抑えることができた。 ・町内住民からの要望はあったものの、これまで集会所に整備できなかった備品を購入することができ、施設の利用促進が図られた。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・築50年を越え、今後も会館維持のためには修繕が必要となってくる。自主財源の計画的な積立のほか、助成金活用も視野に入れながら、今後も町内会活動の拠点として末永く使用できるよう整備していきたい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会ビジョンに掲げていた事業については、ほぼ計画通りに着手することができた。引き続き、「集会所と広場を中心に幅広い年代の住民が憩い、ふれあいができる築地町町内会」を目指していきたい。

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（清掃活動、花壇づくり） ・一般伝統行事（盆踊り、運動会、お楽しみ会、冬季レクリエーション） ・地域ふれあい（日帰り研修旅行） ・情報発信（掲示板設置改修）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・朝市ふれあい館周辺の朝市通りの清掃活動を実施。朝市に対する貢献活動を通じて、地域の誇りを再確認した。（清掃活動） ・既存の花壇を廃止し、集会所前庭に新規花だんを設置。新しい花壇完成により花いっぱい運動に対する住民意識が高まった。花壇に対する地域住民の関心も高くなり、新たな協力者もでてきている。町内の美化活動に対する理解がより一層深まった。（花壇づくり） ・子どもの参加も多く、町内会の伝統行事を通じて地域住民と交流する機会となり有意義であった。皆が集まるお盆の伝統行事であり、今後の継承に向けて地域の絆を深めることができた。（盆踊り大会） ・老朽化していた町内旗を更新。大会参加を通じて、町内の団結、絆を深めることができた。（運動会） ・高齢者から園児まで多世代の交流を深めることができた。3年間に渡り実施した集会所の改修、備品整備をお披露目する機会ともなり、今後の集会所利用促進にもつながった。（お楽しみ会、冬季レクリエーション） ・支援事業活用により、参加者の負担を減らすことで多数の参加があった。地域住民の団結、各世代間の交流を深めることができた。（日帰り研修旅行） ・町内会情報、イベント情報を発信する掲示板を一新、よりスムーズな情報伝達が可能となった。また、朝市通り周辺の景観美化にも貢献でき、町内活動への関心も高めることができた。（掲示板設置改修①） ・町内会の活動拠点となる集会所前に設置することで、町内会活動のPRに効果があった。集会所の改修、花壇の新設、スロープ化を併せて実施したことで地域の拠点としての位置づけができた。（町内掲示板設置②）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も老人クラブと連携を図りながら景観美化に努めていく。（清掃活動、花壇づくり） ・築地町町内会の夏の風物詩として今後も継承していきたい。行事に対する理解と関心を深めてもらうために、いかに参加者・協力者を呼び込んでいくかを意見交換しながら進めていく。（盆踊り大会） ・町の各種行事への積極的な参加により、町内住民の連帯感を高め、相互のコミュニケーションを図っていきたい。（運動会） ・今後も花壇づくりより、地域住民のコミュニケーションを図りながら、「明るくきれいな築地町町内会」を目指していきたい。（花壇づくり） ・本年度で支援事業が終了となるが、このような機会を定期的に計画し開催するよう工夫を凝らしたい。（お楽しみ会、冬季レクリエーション） ・今後は、自主財源のみの実施となる。参加者の負担があまり大きくならないよう事業の見直しや工夫が必要だが、継続を前向きに考えていく。（日帰り研修旅行） ・魅力ある情報発信に努め、維持管理を徹底していきたい。（掲示板改修）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会ビジョンに計画した事業については概ね計画どおりに着手することができた。本事業を通じて拠点（築地会館）整備や住民交流事業により町内会活動が活性化された。

畑町 町内会

人口	390人	世帯数	181世帯	高齢化率	44.1%
畑町 町内会 ビジョン	策定	平成26年11月14日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・おせど会館の機能充実を図るための備品配備が必要となっている。 ・町内行事に幅広い世代の参加を得るため、世代間交流の充実が必要となっている。 ・高齢者の除雪作業、車の運転、体調不良などの不安が多くなってきている。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・おせど会館を中心に、世代間が触れ合えて楽しく生活できる畑町にしたい。 ・隣近所が互いに助け合いながら生活できる畑町にしたい。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・十三騎さんを後世に伝えるため、石碑や紙芝居を制作する。 ・高齢化が進展するため、一人暮らしや老々生活世帯の日常生活を支援する。 ・夏まつり、健康教室、お茶飲み会、趣味の会などの活動の充実を図る。 ・おせど会館を利用して飲食を通し、サロンの憩いの場づくりを行い、定期に開催する。 ・自主防災の体制づくりを行い、食糧備蓄などについても検討する。 			

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（清掃活動） ・一般伝統行事（十三騎さんの継承活動、夏まつり、秋まつり） ・健康づくり（健康教室、健康麻雀教室） ・地域ふれあい（ふれあいサロン）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・住民から垣根を刈り払うバリカンの寄贈があり外回りの垣根の清掃が綺麗にできるようになった。ゲートボール愛好グループが定期的にゲームを行っている。（清掃活動） ・紙芝居の上映が評判よく、五城目警察署からも依頼があり上映を実施。毎年6月の第3日曜日を慰霊祭の日と定めお参りをすることになった。（十三騎さんの継承活動） ・事業を皆で協力したことでチームワークが生まれ楽しく交流できた。（夏まつり、秋まつり） ・会館前の芝生を整備し、グラウンドゴルフにより住民の親睦を深めることができた。（健康教室） ・毎週月曜日に実施、交流が盛んとなってきている。新規参加者を増やす努力を合わせて実施していく。（健康麻雀教室） ・カラオケ、介護、就活など幅広いテーマで実施、町内住民から好評を得た。（ふれあいサロン）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場の清掃は比較的順調であるが、冬場の雪処理等が課題。今後、住民と話し合いによる協力体制づくりが急務であるが、高齢化が進んでおり具体的な対策ができない状況である。（清掃活動） ・講師から指導をいただきながら、町内会役員より弁士を育成する。（十三騎さんの継承活動） ・カラオケの評判が良く、定期的にサロンの開催要望があった。また参加者の高齢化に伴い、行事開催時の準備後始末の作業は、今後参加者全員で行うことで話し合いを行った。（夏まつり、秋まつり） ・誰でも気軽に参加する内容を実施してほしいという要望があり、今後ウォーキングを検討している。健康づくり、ボケ防止の一環として血压測定やぬり絵教室などと共催し、参加者増を図る。（健康教室、健康麻雀教室） ・今後も色々なテーマで勉強し、住みやすい地域で最後まで暮らしていける町内を目指したい。（ふれあいサロン）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいサロンの参加者が増えた。特に女性の参加が活発となった。色々なテーマの勉強会を開催したことが要因と考えている。 ・住民の高齢化が毎年進み、行事を実施するのに準備、片付けの役員負担が大きい。今後は参加者全員が応援してもらえるような行事を選定して実施していく必要がある。

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・備品整備 エアコン設置、テレビ設置、全自動血圧計、専用架台、冷蔵庫、座椅子
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ設置は、サロンと映画鑑賞を毎月開催するほか、健康体操をDVDにて行うことで多くの参加者が見込まれる。 ・エアコンは夏場でも快適に行事を運営でき、参加者の増加が見込まれる。 ・全自動血圧計は、健康教室やサロン開催時に住民が積極的に活用、各自に配布した健康手帳に記入して健康管理に役立てている。 ・冷蔵庫は、各事業時に使用する飲食物を保存できるため、次回開催日にも利用でき無駄がなくなった。 ・座椅子は、足・腰が不自由な住民から喜ばれている。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン、テレビ等の使用により電気料金の増加が見込まれるため、会館使用料として各自より会費を徴収し、必要経費を除いて会館へ寄贈する。 ・高齢者の増加に伴い足腰が悪い人も増え、会議・講習会・サロンの開催時に座椅子の利用者が多いので追加していく必要が出てきている。 ・サロンの内容の充実を図る必要があり、住民の意見を聞いたらカラオケとGG用具の希望があった。年の予算にて購入を検討する必要がある。 ・毎月1回映画鑑賞会を定期的実施する。お茶飲み会も合わせて実施しながら参加者を増やしていく。 ・整備した備品は、町内会行事のみならず、日常から誰でも気軽に使用できるようにすることで、人が集まり、憩える場所としていきたい。 ・住民が気軽に参加できる事業を頻繁に開催し、定期的に血压測定を行えるようにする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・当町内会も高齢化が進み一人暮らしの方が増加しているので、今後色々な事業を計画しながらコミュニティ活動を活発にしていきたい。

昭辰町 町内会

人口	70人	世帯数	37世帯	高齢化率	61.4%
昭辰町 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯が増えコミュニティ活動が限定的になっている。 ・世代間交流が少なく、町内に活気がなくなっている。 ・昭辰児童公園などの公共施設が有効活用されていない。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい景観や施設を維持し、活気ある町内会づくりを目指します。 ・安全、安心な地域づくりのため、自主防災組織を立ち上げ、防災・減災意識の高揚を図ります。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修（バリアフリー化、増床） ・自主防災組織を立ち上げ、避難訓練を実施 ・高齢者のための健康教室等を開催 ・景観維持のための花だんづくりやごみ集積箱設置などを行う。 			

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（ゴミ集積箱更新、清掃活動） ・生活支援活動（防災・減災活動） ・健康づくり（高齢者健康教室） ・地域ふれあい（視察研修）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽したゴミ集積箱を更新、町内の景観美化が図られた。カラス被害もなく町内住民より好評を得ている。（ゴミ集積箱更新） ・共同作業により、昭辰こども園の景観美化が図られた。集会所周辺環境整備について、町内住民の意識が高められた。（清掃活動） ・防災、減災訓練のほか自主防災組織の活動内容について意見交換を実施。地域の防災意識を高揚させることができた。自主防災組織（昭辰町防災会）においては、町内住民の名簿、要配慮者名簿等を作成することとした。（防災・減災活動） ・町保健師の講話や血圧測定など、親睦を深めながら各自健康づくりに取り組むことができた。（高齢者健康教室） ・地域住民が一堂に会し、親睦することができ有意義な事業とすることができた。地域住民の交流が町内会の絆を深めること、地域の活性化や支え合い体制強化につながるということの共通認識を持つことができた。（視察研修）
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別、減量化を徹底し一層の美化に努めたい。（ゴミ集積箱更新） ・昭辰こども園、空き地、河川敷の一層の清掃に努めていく。（清掃活動） ・安全・安心な暮らしを確保するために集会所を防災拠点とした自主防災組織の強化を継続して実施していく。（防災・減災活動） ・事業内容を工夫しながら、事業を継続していく。（高齢者健康教室） ・地域住民の絆を強めていくことが活性化につながるということを意識しながら事業を推進していきたい。（視察研修）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災の取り組みをスタートできたことが大きな成果である。この組織の維持強化が今後の課題であり、地域住民の力を合わせながら安全・安心な地域づくりを進めていきたい。

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修 会館増築（9.9㎡）、和室網戸取付（4枚）、和室障子張替（8枚） 台所フロア張り（12.2㎡）、トイレ通路床板張り（1.5㎡） 玄関手摺（2.9m）、和室畳張替え（8畳） ・備品整備 丸型石油ストーブ1台、冷蔵庫・電子レンジ1台、キッチンボード1
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・築後40年近くとなる施設であるが、本事業の活用により、会館の改修と備品整備することができ、施設の長寿命化と利便性の向上が図られた。 ・集会所には和室と洋室があり使い勝手が良い。防災拠点としても和室があることで利便性が効くと思う。今後、自主防災組織を強化していくため、基盤となる拠点整備ができたことは大きな成果である。
今後の方針 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・町内住民のニーズを把握するため、広く意見を聴取する場をつくりたい。特に若世代の声を町内会活動に生かして参りたい。 ・本事業実施前に下水道接続工事、屋根改修など自主財源において工事を実施してきており、今回の改修と合わせて施設の長寿命化が図られた。 ・施設運営の経費には、公共施設である昭辰こども園利用者のためのトイレに係る経費も含まれている。全額町内会が負担している状況であるが、公衆トイレの機能も含むものであり、行政からの補填や支援があればありがたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町補助金活用により、優先順位の高いものから事業推進できた。 ・本支援事業の成果を活かして今後、町内会活動の活性化を図りたい。

雀館 町内会

人口	408人	世帯数	168世帯	高齢化率	30.4%
雀館 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし世帯の高齢者が増加しており、地域の支え合う活動が必要になっている。 町内会活動に参加する住民が少なくなっている。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 住民全員が深い絆で結ばれ、何でも協力し支え合う町内会を目指します。 みんなが協働で創る、揺るぎないコミュニティを醸成します。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> 集会所を高齢者や子どもが集いやすいように改修するほか、防災拠点としても活用できるよう整備する。 脆弱化している子供会と夏祭りなどの世代間交流を開催する。 高齢者を主体としたサロンなどを開催する。 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 集会所改修 洗い場設置（水道蛇口付）、犬走り舗装（コンクリート舗装 27.2m） 側溝補修（12m）、前庭舗装（コンクリート舗装 65㎡） テーブル、座椅子、テレビ、血圧計
成果	<ul style="list-style-type: none"> 集会所の前庭は毎年夏祭りに活用しているが、アスファルトが経年劣化し、雑草の浸食により管理に不便をきたしていた。また側溝の不備により、ケガすることもあり整備が必要であった。本事業活用により、平坦なスペースが拡大し、野外活動の利便性や高齢者等の集会時の安全性が改善され、今後の活動に大きな効果がある。 テーブル及び椅子は、高齢者の足腰の負担軽減につながり、施設の利用促進、町内行事等への参加促進に効果がある。 テレビは、サロンの中での生活習慣病や健康体操に関するDVD映像の視聴などに幅広い活用ができています。 血圧計は、看護師経験者による血圧測定などの実施のほか、いつでも誰でも活用でき、各自の健康づくりに寄与している。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> 暖房器具やエアコン、トイレ水洗化、駐車場や進入路の舗装等、まだまだ住民の要望は多い。快適な環境は町内活動を行う上で望ましいことであるが、財源や利用頻度との兼ね合いで困難な面もあり、今後の検討課題である。 集会所は築28年経過しており、内外装とも老朽化が進んでいる。今後、計画的な修繕と財源確保が肝要である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 集会所の外構整備は、本事業の助成があればこそ可能になったもので、その恩恵は財政面のみならず、今後のコミュニティ活動に大きな効果があるものととらえている。

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 景観美化活動（清掃活動、花いっぱい運動） 一般伝統行事（盆踊り大会） 生活支援活動（活花教室、手芸教室） 健康づくり（健康教室、料理教室） 地域ふれあい（グラウンドゴルフ大会）
成果	<ul style="list-style-type: none"> 景観美化はもとより、長期間にわたって各班が輪番で分担管理作業を行うことで、連帯感を強めることができ、コミュニティ活動として有益である。（清掃活動、花いっぱい運動） 地域の伝統行事の継承に寄与、衣装を調達したことで今後の活動継続に前向きとなった。会員の親睦を図り、次年度の構想について話し合うなど、結束を強めるよい機会となっている。（盆踊り大会） 本事業の活用を始めてから参加者が2倍以上に増加、会員相互の交流が図られ大きな成果があった。（活花教室） 指先を使う作業により、ポケ防止につながり、引きこもりやストレス軽減にもよいと好評を得た。（手芸教室） 近年は健康寿命に関心が高く、認知症や介護に関する情報・知識などの習得に有益であった。地域の支え合いの重要性を認識することができた。（健康教室） 健康増進のための料理講習として、健康志向が高まり、高齢者にとって人気の事業となった。（料理講習） 町内会所有の用具を整備したことで、積極的な参加があり、町内住民の交流機会、運動の機会が増加した。（グラウンドゴルフ大会）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> 花壇コンクールの入賞により意識も高くなってきている。河川敷の草刈り、ポケットスペースの維持管理等も事業継続し、町内美化に努めながら住民親交を深めていく。（花いっぱい運動、清掃活動） 地域の伝統行事が高齢化や人口減少などにより衰退が危惧されているが、地域団体がつないでいかなければならないと考えている。（盆踊り大会） 支援制度がなくなるため、参加者減とならないよう内容の見直しが必要である。新たな事業制度の創設を望む声も多い。（活花教室） 高齢化が進む中で、引きこもりによる精神的障害などがないよう、活動を継続していきたい。（手芸教室） 高齢者サロンの一環として、健康に関するもの、映画や娯楽に関するものなど、広範なメニューを検討して、参加者の拡大策を練る。（健康教室） 男性の参加促進のための教室も企画し、参加者拡大に努める。（料理講習） 町内住民の交流促進や健康増進に効果があり、参加者の拡大に努めたい。（グラウンドゴルフ大会）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 本事業以降、活花教室の参加者は2倍以上に増え、他の活動についても大幅参加者が増加し、期待以上の大きな成果があった。主な要因は財政的な支援が想定されるので、一過性のものに終わらせない工夫が求められている。 参加者の少ない活動やイベントは参加する人が特定される傾向にある。 地域住民の関心度が高い健康や福祉のほか、共助、防災などの新たな活動を模索し、転換していかなければならない。 本事業の終了を惜しむ声が多くあった。

館町 町内会

人口	82人	世帯数	43世帯	高齢化率	57.3%
館町 町内会 ビジョン	策定	平成26年5月2日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯が増え、安全安心な暮らしの確保に努める必要がある。 ・一人暮らし世帯など、安否を確認できる体制づくりが必要である。 ・空き家の増加に伴い景観保全を図る必要がある。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心身共に健康な住民が多く、快適な生活環境が維持されています。 ・一人暮らしの高齢者の見守りシステムが確立されています。 ・環境美化活動に関心が高まり、地域住民の交流が盛んになっています。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易物置を整備する。 ・景観形成のため花だんづくりや樹木の植樹を行うとともに、ごみ集積箱を整備する。 ・高齢者の見守りシステムの確立、除雪支援体制について検討する。 ・グラウンドゴルフなど健康づくり活動を行う。 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易物置設置（13.97㎡）、建築確認申請
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会所有の物品を一括保管することができ、利活用の面においても一層の利便性を図ることができた。 ・今後は長年に渡って不便をきたしていた物品の調達、個人の管理に頼ってきた多くの町内会資料の保存など広く活用することができる。 ・雀館運動公園に隣接した位置に設置したことで、周囲の環境と一体となった環境を維持していくため、地域ぐるみで景観美化に取り組む意識が一段と高められた。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・保存書類の中には、プライバシーに係るものもあり、責任者以外は閲覧できない保存方法（施錠できるケースなどの設置）について検討が必要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会唯一の保管施設が整備されたことでコミュニティ活動も様々な形で推進できるようになった。

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（景観木植栽、花壇づくり、清掃活動、ゴミ集積箱改修） ・一般伝統行事（屋外行事用備品の整備） ・地域ふれあい（先進視察研修）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町内住民が一体となって快適な地域環境を整備。町内の美しい景観の維持、確保について住民意識が向上した。（景観木植栽、清掃活動） ・環境美化に対する意識が向上し、コンクールでも例年以上の成績を納めた。（花壇づくり） ・維持管理が容易となり、安全かつ使い勝手が良く住民より好評を得ている。（ゴミ集積箱改修） ・全町体育祭、各種イベントへの参加促進を図るための備品（簡易テント）を整備、今後の行事運営の円滑化が図られた。（屋外行事用備品の整備） ・視察を通じて町内住民の親睦を深めることができた。（先進地視察研修）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木の管理を通じて、協働作業や町内会員の交流の場を増やしていきたい。良好な環境づくりに関する住民意識を深める事業として継続していく。（景観木植栽） ・備品を活用した災害訓練やグラウンドゴルフ等の交流事業の開催を計画している。（屋外行事用備品の整備） ・冬期間の使用状況を見ながら、景観面にも配慮しつつ必要な対応を講じて長く使用できるようにする。（ゴミ集積箱改修） ・花壇に必要な水源確保、清掃作業に必要な用具の確保が必要である。（花壇づくりと清掃） ・住民が一体となって地域づくりを推進していくために、住民相互の親睦を深めるため機会づくりが必要であり、今後も様々な形で実施していきたい。（先進地視察研修）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な環境づくりを推進するためには、町内会だけの対応は限界があり、行政と一体となった方策が必要。 ・町内会活動に若い方々から参加してもらうための機運をいかに高めて行くかが課題。

中川原 町内会

人口	112人	世帯数	55世帯	高齢化率	43.8%
中川原 町内会 ビジョン	策定	平成27年9月18日策定			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多く、日常生活支援を必要としている。 ・堤防の桜が管理されていないため、景観を悪くしている。 ・ゴミ集積が容易くできるような方式の改善を必要としている。 ・各世代の親睦、交流の機会がなく町内会活動が停滞している。 			
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者まで、みんな仲良く安全、安心な暮らしができる。 ・行事には積極的に参加し、絆を深め活動を活気づける。 ・美しい景観を維持し、心が癒される。 			
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防の桜を剪定し、景観を良くし、憩いの場とします。 ・ゴミ集積方式を改善し、ルールを定め、景観を良くします。 ・高齢者に対し、日常生活支援の活動をします。 ・夏祭りやグラウンドゴルフ大会等の開催、各世代で親睦会を結成し、交流を深め、町内会活動の活性化を図る。 ・各種活動及び災害の拠点として存続させるため、集会所を改修します。 ・災害対策に関する事業を実施し、町内の防災に対する意識を高めます。 			

元気な地域づくり活動支援事業（既存集会所改修等支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所改修 外壁改修（鉄板サイディング、水切り、軒天井見切縁、コーキング） 玄関改修（玄関戸入替、土間補修、玄関ホール手摺取付）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・築20年を経過し、老朽化の進行を懸念していたが外壁材の張替え長寿命化を図ることができた。 ・玄関戸は地盤沈下によって戸枠が変形し、戸締りが困難な状態であったが、入替によりスムーズに施錠できるようになった。 ・玄関ホールから廊下までの高さが40cmあり、高齢者には不便であったが、手摺を取り付けることで不便・不安を解消することができた。
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所が老朽化しているため、今後、屋根の葺き替えやその他の改修についても優先順位をつけて計画的な改修を進めていく。財源の確保については、新規補助事業の活用と町内会積立金の活用を検討している。 ・集会所改修資金は約15年に渡り積立を継続してきましたが、今後、町内会の世帯減少が更に加速すると考えられるので、資金不足とならないよう資金管理が必要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所維持に重要な外壁の張替ができたことで、建物の長寿命化を図ることができた。

元気な地域づくり活動支援事業（元気なムラづくり活動支援事業）	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・景観美化活動（堤防の桜整備、清掃活動、ゴミ集積箱設置） ・生活支援活動（災害対策事業）
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間に渡り、支障となっていた馬場目川堤防の桜の剪定、草刈りを実施した。景観美化とともに、通行人の安心・安全を確保することができた。（堤防の桜整備、清掃活動） ・ゴミ集積所が整備され景観が良くなった。高齢者の負担であった当番制の作業もなくなり、好評を得た。（ゴミ集積箱設置） ・発電機を配備、納入業者から保管、操作方法について学び、非常時の備えとすることができた。（災害対策事業）
今後の方針課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進む町内では、景観美化活動、災害時の対応について若者の協力が不可欠である。若者が気軽に町内会活動に参加できるよう、運営方法を検討していく必要がある。 ・本事業により購入した剪定用の備品を活用し、定期的な剪定を行い現状維持に努めていく。（堤防の桜整備、清掃活動） ・使用上の注意事項の周知徹底を図り、維持管理に努める。（ゴミ集積箱設置） ・非常電源が必要となる事例を具体的に話し合い、優先順位を定めて活用していく。（災害対策事業）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防の桜剪定、草刈り及びゴミ集積箱の設置など、本事業により町内の景観美化が図られ、町内住民より好評を得ている。